

四万十市文化複合施設（仮称）基本計画（素案）に関する
パブリックコメント（意見公募）の結果について

老朽化した「市立文化センター」、「市立中央公民館」、「市立働く婦人の家」を複合化して、新しい「文化複合施設」を整備するための「基本計画」（素案）を取りまとめ、市民の皆さんにご意見を募集しました。

提出されたご意見とその回答について、次のとおり公表します。

1 実施期間：平成30年12月19日から平成31年1月18日まで

2 実施場所：市公式ホームページ

四万十市立中央公民館1階：企画広報課文化複合施設整備推進室

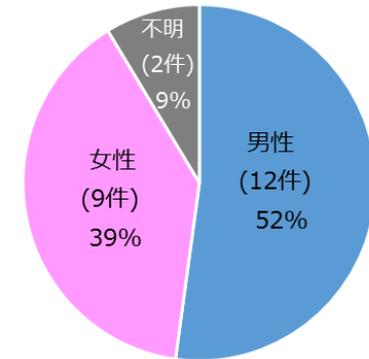
四万十市役所本庁3階：企画広報課、西土佐総合支所1階：地域企画課

3 意見提出数：23名43件

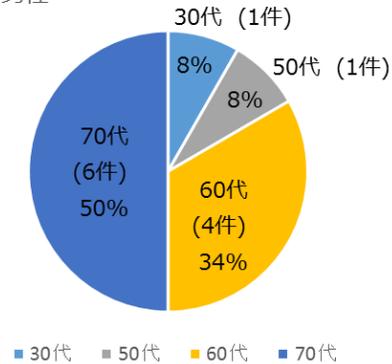
主な意見

①大ホールに関する意見	11件
②JAとの合築に関する意見	5件
③防災機能に関する意見	3件
④駐車場に関する意見	3件
⑤調理実習室に関する意見	3件

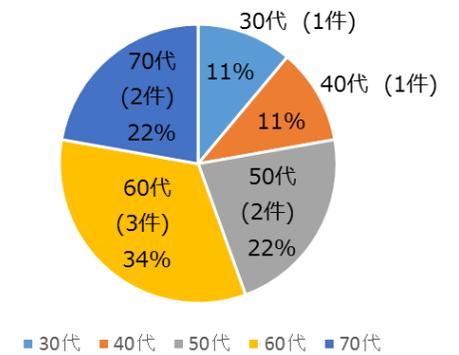
意見を提出された方の性別



男性



女性



4 ご意見と回答

番号	該当頁	ご意見	回 答
1	6	<p>ボルダリングを作って欲しい。</p> <p>西土佐のカヌー館と四万十町のスポーツ施設にあるが、片道小1時間かけてまでは通うと思わない。気がるに立ち寄ってジムや軽いスポーツ感覚で遊べる場が欲しい。</p> <p>オリンピックの競技にもなりましたし、テレビでもよく話題になり、子供から大人まで楽しめるボルダリングの検討をお願いします。</p>	<p>ボルダリングについては、本文化複合施設で対応できる「軽運動」には想定しておりません。本市のスポーツ施設に関するご意見として別の機会に提案された方がよろしいと考えます。</p>
2	-	<p>①文化複合施設の中に、JAさんが加入するというのは少し不満が残ります。文化的施設は単独で建物を建設すればよいのではないのでしょうか。JAさんも私達にとってはLife-Lineの大切な役わりを果たして下さっております。JAさんは、幡多地域で1つの建物になるのですから、立派なものにして下さるようお願いしております。</p> <p>②もちろん、重要なことは、すべての建物にかかわる費用の事ですが、市と、JAさんとの交かん地は本当によいアイデアであると思えますので、JAと文化施設が一つの建物になるという事であれば、玄関は文化関係とJAさんとは全くちがう入口にするとか、文化施設とJAさんとのお互いの利につながるように設計をもっともっと深く考えて、JAさんと文化施設とのお互いの有用を考えて下さるとよいのではないのでしょうか。</p>	<p>文化複合施設(以下「施設」という。)を高知県農業協同組合幡多地区(以下「JA」という。)と協同で整備を進めていくメリットは、本市においては「中心市街地内で一定規模の敷地面積が確保できること。」「中心市街地内で本市の既存建物を集約化・再配置することで、コンパクトなまちづくり及び中心市街地の活性化に寄与できること。」「また、JAにおいても「施設の整備に合わせてコンパクトな本館整備ができること。」「JAグリーンが国道沿いに移設することで、集客UPが期待できること。」などが考えられます。そのメリットを活かし、JA利用者も施設の掲示坂(公演等のポスターや文化活動の募集など)を眼にする機会が増えることにより、文化活動・生涯学習活動がより活性化することを期待して、日常的に多くの来客があるJAの窓口業務部門を施設内に配置することを計画しています。</p> <p>また、施設の諸室の配置や動線については、来年度以降の設計段階において具体的に検討を進めます。</p>
3	-	<p>近年の公立文化施設の考え方に沿っていない説明会だと感じました。「夢と未来」の構想にしては、余りにもコンパクトな施設になりそうです。例えば、四万十市には美術館、映画館もないのです。文化の香る四万十市と詩っても。小さな市町村でも美術館をもっているのです。</p> <p>財源の問題は大きいかも知れませんが、余りにも市民目線のビジョ</p>	<p>文化複合施設は、四万十市総合計画や公共施設等総合管理計画などの関連計画で示された方針に沿って整備を進めており、特に、公共施設の更新の際には、将来的な維持管理費の縮減等を目的に、統合を検討し複合施設とすることで施設総量を減らすという基本的な考え方があります。</p> <p>【参照:P3 第2章 施設の基本理念・使命 1 基本理念・使命(1) 上位計画等の整理】</p>

		<p>ンがないと思います。(貧しい発想)</p> <p>こども食堂の調理施設の確保はどうなるのか？ 育み、きつず広場などの提供はできるのか疑問です。</p>	<p>文化複合施設は基本理念を「未来を紡ぐ参加・交流・創造の拠点」として、既存3施設(文化センター、中央公民館、働く婦人の家)が担っている役割や機能を発展的に受け継ぎ、市民の文化芸術活動・交流活動を活性化する拠点、賑わいを創出する中核拠点、地域コミュニティを活性化する拠点となるよう取り組んでいきます。</p> <p>「こども食堂の調理施設」については、文化複合施設内にそれ専用のスペースは設けませんが調理実習室の整備は予定しています。また、「育み、きつず広場」については、交流機能の諸室を子どもや子育て世代を含む多様な世代の集いの場になるよう計画していく方針です。詳細は次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:P18 第4章 施設計画 3 主たる諸室機能の検討・整理(4)交流機能「キッズコーナー」】</p>
	-	<p>防災機能の具体性(的計画)はあるのか？</p>	<p>防災対策への市民の関心が高まる中、公共施設には十分な防災対応と運用が求められているので、災害時に求められる多岐にわたる機能を可能な限り持たすことを目標としています。全国の皆さんから集まる支援物資の集積・仕訳・配送所の機能、災害ボランティアや応急救助機関の活動拠点、避難所など様々な機能が想定されています。ただ現時点では、施設規模・配置等が明確に決まっていないので、来年度以降の設計段階で適切な機能配置に努めます。</p>
4	-	<p>更生保護サポートセンター幡東の活動場所の移転先が見つからないのでさがしてもらいたい。</p> <p>又複合施設に組み込んでもらいたい。</p> <p>市役所建設の際、1度御願いたしがかなわなかった。</p>	<p>更生保護サポートセンター幡東が活動している「旧教育研究所」については、文化複合施設整備事業に係るJAグリーンの移設整備に関連して、平成32年5月頃からの解体を予定しているため、当該団体の活動スペースを文化複合施設内に設けてもらいたい旨の要望がありましたが、現時点での諸室の配置計画において、特別のスペースを設ける面積的余裕がないため対応は困難です。</p> <p>当団体の新しい活動拠点選定にあたっては、市も協力させていただきます。</p>

5	第4章	<p>複合施設とは、文化センター、中央公民館、婦人の家の3つの複合施設だと理解していました。(文化)とは、利益に左右されない、人々の大切な心だと思います。文化施設は独立した建物を理想とします。全国的に商業施設(JAなど)と合体した公の文化施設はあるのでしょうか。</p> <p>駐車場が80台では、せっかくの文化施設がもの足りない気がします。広々とした場所に、文化センター、駐車場ができると良いですね。</p> <p>文化センターは1000席はないと芸術家、演奏家の方は来ていただけないという話を聞いたことがあります。いかがなものでしょうか。より良い文化施設が建設されますようにと祈ります。小ホールが平土間ホールだと、現在の公民館と同じですね。</p>	<p>文化複合施設(以下「施設」という。)を高知県農業協同組合幡多地区(以下「JA」という。)と協同で整備を進めていくメリットは、本市においては「中心市街地内で一定規模の敷地面積が確保できること。」「中心市街地内で本市の既存建物を集約化・再配置することで、コンパクトなまちづくり及び中心市街地の活性化に寄与できること。」「また、JAにおいても「施設の整備に合わせてコンパクトな本館整備ができること。」「JAグリーンが国道沿いに移設することで、集客UPが期待できること。」などが考えられます。そのメリットを活かし、JA利用者も施設の掲示坂(公演等のポスターや文化活動の募集など)を眼にする機会が増えることにより、文化活動・生涯学習活動がより活性化することを期待して、日常的に多くの来客があるJAの窓口業務部門を施設内に配置することを計画しています。</p> <p>また、複合施設の例では、現在建設中の土佐市の施設は、「図書館」「中央公民館」「市民会館(ホール)」「社会福祉センター」「商工会」の5つの機能を備えた複合文化施設となっているなど、他にも公共施設に民間施設が入っている事例はありません。</p> <p>駐車場については、整備予定地内に80台程度、臨時駐車場として新しいJAグリーン側へ120台程度の合計約200台で対応したいと考えていますが、イベント時には不足も想定されますので、現在、施設周辺の駐車場について調査をしているところです。</p> <p>文化複合施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業を展開していくことを計画しています。</p> <p>【参照:基本計画(案)P.11 第3章 事業の考え方「(4)鑑賞・普及事業」】</p> <p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度であり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の</p>
---	-----	--	--

			<p>学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。</p>
6	-	<p>イベント開催日収容人数相当の駐車場が必要と思われますが、駐車場はどのように考えているのでしょうか？</p> <p>80台 120台=200台 説明あり。</p> <p>※ビルの中の地下かビルの1階スペースを駐車場にしたらどうでしょうか？(JAスペースにも駐車場を1Fに作ったら?)</p>	<p>駐車場については、整備予定地内に80台程度、臨時駐車場として新しいJAグリーン側へ120台程度の合計約200台で対応したいと考えていますが、イベント時には不足の場合も想定されますので、現在、施設周辺の駐車場について調査をしているところです。</p> <p>【参照:基本計画(案)P.23 「(7)駐車場・駐輪場」】</p> <p>なお、地下駐車場については、地上工事と比較して地下工事のコストが高いことなどから、整備費等の抑制のため計画はしていません。</p> <p>また1階を駐車場とし、2階以上を施設の機能諸室とすることについても、現文化センター等と同じように搬入が制約されてしまうことから、計画はしていません。</p>
	-	<p>災害時は避難場所になると思いますので、避難場所として対応できるように整備してほしい。防災拠点としての設置なら補助金もあるのでは？(自家発電等も含めて)</p>	<p>指定避難所としての利用ですが、現時点では、施設規模・配置等が明確に決まっていますので、来年度以降の設計段階で適切な機能配置に努めます。</p> <p>防災面での補助金等については、現時点では既存3施設の場所が津波浸水想定区域になっていませんので「都市防災総合推進事業」の交付金や「緊急防災・災害事業」の起債など、防災関連事業の活用は難しい状況です。</p>

-	<p>JAの窓口が一番お客様が来るのですか？一番はふれあいの方ではないですか？</p> <p>都会の方は駅と一緒にあったターミナルビルとなっているので複合施設は大賛成です。大型スーパーが入ってもいいのではないのでしょうか。(さつきとつながっても??いいのでは)特に高齢者になって車に乗れない人でもイベントに参加し、そのついでに買い物も出来るようにした方がいいのではないのでしょうか？</p>	<p>文化複合施設(以下「施設」という。)を高知県農業協同組合幡多地区(以下「JA」という。)と協同で整備を進めていくメリットは、本市においては「中心市街地内で一定規模の敷地面積が確保できること。」「中心市街地内で本市の既存建物を集約化・再配置することで、コンパクトなまちづくり及び中心市街地の活性化に寄与できること。」「JAにおいても「施設の整備に合わせてコンパクトな本館整備ができること。」「JAグリーンが国道沿いに移設することで、集客UPが期待できること。」などが考えられます。そのメリットを活かし、JA利用者も施設の掲示坂(公演等のポスターや文化活動の募集など)を眼にする機会が増えることにより、文化活動・生涯学習活動がより活性化することを期待して、日常的に多くの来客があるJAの窓口業務部門を施設内に配置することを計画しています。</p> <p>大型スーパーの複合化については、事業費や整備予定地の面積、その他総合的に検討しても実現は難しいと考えます。</p>
-	<p>現在行っている活動は継続できるようにして下さい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、現在行われている活動を可能な範囲で継続できるよう、次年度以降、管理運営計画において具体的に検討を進めます。</p> <p>【参照:P.5～6 第2章 基本理念と使命</p> <p>「1 基本理念と使命 (2)基本理念と使命」「2 必要な機能】</p>
-	<p>客席の椅子の位置は、交互に少しずらして前の席に背の高い人が座っても、後ろの方が間に入って見えるようにして下さい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:P.15 第4章 施設計画</p> <p>3 主たる機能諸室の検討 (1) ホール機能①大ホール「客席】</p>
-	<p>最新の設置にしてどこにも負けない立派なホールを作って下さい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、事業費や整備予定地の敷地計画等に配慮しながら、引き続き、設計及び管理運営計画において検討を進めます。</p>
-	<p>建物の維持費が入ると思いますので、一部を貸店舗にして賃貸で少しでも維持費がまかなえるようにしたらどうでしょうか？</p>	<p>貸店舗スペースの確保については、事業費や整備予定地の面積、その他総合的に検討しても実現は難しいと考えます。</p>

7	-	<p>全体として市民の気持ちや意見に沿う説明になっていない。利用する市民の思い、要望を最重要課題として受け入れる態度が市に欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婦人の家を独立して残して ・利用しやすい施設と料金(大方暁館は無料) ・JAと合同施設には納得できない 	<p>働く婦人の家を含め、文化センター、中央公民館の3施設については、老朽化が著しく耐震性もないことから、四万十市総合計画及び四万十市公共施設等総合管理計画等に基づき、複合化して建て替えを行う計画で進めています。</p> <p>整備にあたっては、利用しやすい施設となるよう、設計段階においても市民の皆さんの意見も伺いながら計画していくとともに、料金設定など管理運営面についても、次年度以降の管理運営計画で検討していきます。</p> <p>文化複合施設(以下「施設」という。)を高知県農業協同組合幡多地区(以下「JA」という。)と協同で整備を進めていくメリットは、本市においては「中心市街地内で一定規模の敷地面積が確保できること。」「中心市街地内で本市の既存建物を集約化・再配置することで、コンパクトなまちづくり及び中心市街地の活性化に寄与できること。」「また、JAにおいても「施設の整備に合わせてコンパクトな本館整備ができること。」「JAグリーンが国道沿いに移設することで、集客UPが期待できること。」などが考えられます。そのメリットを活かし、JA利用者も施設の掲示坂(公演等のポスターや文化活動の募集など)を眼にする機会が増えることにより、文化活動・生涯学習活動がより活性化することを期待して、日常的に多くの来客があるJAの窓口業務部門を施設内に配置することを計画しています。</p>
8	-	<p>小ホールにも舞台がありますか。小ホールにも舞台がほしい。</p> <p>舞台には子供から高齢者まで出演する衣装や道具などスムーズに出入りできるようにしてほしい。</p> <p>予算もコンパクトもクリアしたが、使い勝手が悪い 市民から いいねがきかれない施設になりませんように。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:P.15 第4章 施設計画</p> <p>3 主たる機能諸室の検討 (1) ホール機能①大ホール②小ホール】</p>
9	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール機能は現在より広がる。(能力は増強を期待) ・創造支援機能は現在より広がる。 	<p>[全体について]</p> <p>考え方については、施設整備に係る延床面積の制限の中で、必要な機能をバラ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・展示、交流、管理の各機能を縮小する。(複合にすることによって可能)複合によって管理部門の面積と経費が節約できると理解概ね、上記の考えで良いでしょうか。 ・JA(窓口部門)が文化施設に入居することは市民の期待を裏切るもの。今後50～60年後悔すると思います。しかも、エントランスロビーからJAに入ることは言語道断。JAの口から直接聞かなければならない。財源の節約、その他の約束などから、合意に関する書があるとしても、市民目線に帰らなければならない。パブリックコメントの意味がなくなる。財源には市民の税金が使われているはず。納税者の意見を尊重し採用しなければならない。 ・将来、社会のニーズの変化によって施設を変更しなければならない場合、複合では対応ができなくなる恐れ。 ・駐車場は台数分を確保する視点だけでなく、文化施設の前面エリアとして植栽を豊かにする視点も。 ・調整は難しいと思いますが、希望のあるものが建設されますように。 ・決ってからパブリックコメントをするのではなく、決まる前に実施して頂きたい。 ・説明しないで、ご理解いただきますでは理解不可能です。説明できる人を同席させて頂きたい。 	<p>ンス良く配置できるよう、引き続き設計段階においても市民の皆さんの意見も伺いながら検討していきます。(ホール・創造支援・展示・交流の各機能部分について、ある機能の面積だけが突出して「広くなる」「狭くなる」ということはありません。)</p> <p>[JAについて]</p> <p>文化複合施設(以下「施設」という。)を高知県農業協同組合幡多地区(以下「JA」という。)と協同で整備を進めていくメリットは、本市においては「中心市街地内で一定規模の敷地面積が確保できること。」「中心市街地内で本市の既存建物を集約化・再配置することで、コンパクトなまちづくり及び中心市街地の活性化に寄与できること。」また、JAにおいても「施設の整備に合わせてコンパクトな本館整備ができること。」「JAグリーンが国道沿いに移設することで、集客UPが期待できること。」などが考えられます。そのメリットを活かし、JA利用者も施設の掲示坂(公演等のポスターや文化活動の募集など)を眼にする機会が増えることにより、文化活動・生涯学習活動がより活性化することを期待して、日常的に多くの来客があるJAの窓口業務部門を施設内に配置することを計画しています。</p> <p>また、施設の諸室の配置や動線については、来年度以降の設計段階において具体的に検討を進めます。</p> <p>[将来 複合では対応できなくなる恐れについて]</p> <p>3つの施設機能を統合するとはいえ、文化複合施設では一体的な管理運営をしていく想定であり、改修や設備機器の更新においてもひとつの施設として実施することを想定しています。また、高知県農業協同組合幡多地区部分についても、市が整備して賃貸借とする形を予定しているため、施設の改修や設備機器の更新には対応が可能です。</p> <p>【参照:P.30 第7章 概算事業費 1 概算建設費】</p> <p>[前面の植栽等について]</p>
--	--	--

			<p>いただいたご意見をふまえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:P.22第4章 施設計画</p> <p>5 その他施設整備の留意点(1)まちづくりの視点(2)建物コンセプト】</p> <p>[その他]</p> <p>(説明会の実施、進行について)</p> <p>パブリックコメントは基本計画の「素案」について実施したもので、様々な意見をいただく中で、総合的に判断し「素案」を修正する場合があります。</p>
10	-	※受付箱の中に落書きをされた「パブリックコメント実施要領」1枚が投函されていた。	
11	-	<p>現在の計画案に反対します。</p> <p>理由1: 公共の建物内に営利企業が同居するのは公共性に反するのではないのでしょうか。</p> <p>理由2: 文化芸術の拠点ともなりうる建物に営利企業が占拠するのは見た目にも風変わりで陳腐だと思う。</p> <p>理由3: 現計画の場所について。市街地の活性化と言われていますが駐車場の事や交通の混雑を考えれば、郊外の方が将来発展する可能性が有ると思います。</p> <p>以上の理由で現計画案に反対いたします。</p>	<p>今回市と協同で整備にあたっている高知県農業協同組合幡多地区については、公共的な活動を営む「公共的団体」であり、単なる営利企業ではありません。両者が協同で整備を進めていくメリットを確認し、そのメリットを活かせるよう計画を進めており、公共性に反することはないと考えています。また、現在建設中の土佐市の施設は、「図書館」「中央公民館」「市民会館(ホール)」「社会福祉センター」「商工会」の5つの機能を備えた複合文化施設となっているなど、他にも公共施設に民間施設が入っている事例はあります。</p> <p>建設場所の選定にあたっては、市街地を中心に郊外も含めて検討してきた経過があります。各候補地には一長一短がある中で、高知県農業協同組合幡多地区の本館建替えの議論が浮上してきたことに伴い、その本館と市立公共施設との合築による文化複合施設整備の可能性について共同研究を進めてきた結果、現計画場所を建設予定地としたものです。市としては、駐車スペースの確保に一定の検討は必要ですが、何より子どもから高校生、若者から高齢者まで、多くの方々に気軽に立ち寄ってもらえる施設とするためには、中心市街地活性化の面からも現計画地での建設に意義があると考えています。</p>

12	<p>○意見を聞く前から、JAが複合施設に入ることや働く婦人の家の取り壊しの時期の変更が決まっており、これでは意見の言いようがないではないか。職員の方の言葉に「ご理解ください」というのが大変多かったが、理解できない。(前の席に会の進行の助っ人の様な方がおられたのが気になる。本当に市民の意見を聞くという立場なら、みんなで、ゆっくり話し合えばいいのでは?)</p>	<p>本市の重要施策の一つである文化複合施設整備については、議会や各種会議、説明会、また報道等でも事業の進捗状況などを報告しており、今後も継続して報告を行います。</p> <p>事業の推進にあたっては、当初の計画が変更になることもあり、その都度、関係団体と協議しながら対応しているところです。</p>
	<p>○小ホールの様な大きさの部屋を軽運動も使う部屋にすると、少人数で手軽に軽運動を楽しみにくい、調理室は大きく使ったり2部屋にしたりできるよう…、子どもからおとしよりまでと一緒に仲よく集える場を…等々市民ワークショップでは、本当に素晴らしい意見がたくさん出ました。それらを施設計画にしっかり生かしてほしい。具体的な設計は、市民の声を聞いてから決めてください。</p> <p>○調理室の設備等は必ず女性の意見を聞いて、そなえつけてほしい。例:シンクの大きさなど</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、引き続き基本設計段階においても市民ワークショップ等を開催しながら市民の皆さんの意見も伺い検討を進めます。</p>
	<p>○働く婦人の家は登録団体は無料で使える為、女性の健康、文化的生活の向上に大変貢献してきました。低い年金生活者が多い中で、これは大変重要なことです。工事中の代替の会場の無料確保、新しい施設における活動を安定的に継続できる様、使用料の無料等をお願いします。新しい施設のおかげで小さないくつもの文化活動がつぶれる様では、何のための文化施設かわかりません。</p>	<p>働く婦人の家は施設設置に際し法律の適用を受け、条件に合致した場合に無料利用が可能となっています。しかしながら、当該施設が解体されること、現状は同様の団体が中央公民館や他の施設を利用して活動することが一般的になっている中で、当初から利用料無料の設定をすることは負担の原則の観点から難しいと考えます。同様に代替施設の利用においても、現在の施設利用のような無料とはなりません。しかし、ご意見のとおり、複合施設が出来ることによって文化活動が衰退する事態は避けるべきこととありますので、文化芸術の推進等現状維持及び向上が図れるよう各種施策を次年度以降管理運営計画の中で検討していきます。</p>

13	14	舞台裏からの階段を安全なものにしてほしいです。文化センターは狭くて急で危なかった。	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【方針参照:第4章 施設計画 3 主たる機能諸室の検討・整理</p> <p>(1)ホール機能 ①大ホール P.14 舞台 P.15客席、楽屋】</p>
	15	大規模なオケや有名人を呼ぶなら1,000席ほしいです。また、前後左右のスペースに余裕があれば良いです。	<p>文化複合施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業を展開していくことを計画しています。</p> <p>【参照:基本計画(案)P.11 第3章 事業の考え方「(4)鑑賞・普及事業」】</p> <p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度であり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。</p> <p>客席の前後左右のスペースについては、いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p>
	16	公民館同様に、中村交響楽団用の楽譜や譜面を収容する部屋があること希望。専用の練習もできればお願いします。	<p>利用団体の専用倉庫の設置は、他の利用者とのバランスから難しいと考えます。新施設においても防音効果をもたせた部屋を設置する計画となっています。</p>
	-	これまで演奏会で出たお弁当のゴミ等は全て持ち帰っています。ゴミ袋は準備して詰めるのでゴミ捨て場を用意してもらえないでしょうか。演奏中もずっとゴミの持ち帰りがいつも気になって気が重いです。施設利用者の為のゴミ捨て場をよろしくお願いします!!	<p>施設利用に伴い発生するごみについては、主催者での処分をお願いします。</p>
14	-	<p>大ホール客席数:1000席。</p> <p>・最低でも固定席900は確保し補助席等で1000人は収容できるこ</p>	<p>[客席数について]</p> <p>文化複合施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業を</p>

	<p>と。(内、車椅子対応や障害者用座席は合せて10席程度)西土佐ふれあいホールの様に客席は2階構造で1階は600～700名程度、2階は400～300名程度とし普段は1階のみで、大規模コンサートなどでは2階も使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多中心都市として、幡多地域で最大収容人数を確保すべきと考えます。 <p>土佐清水市立市民文化会館:864人 宿毛市総合福祉センター:1000人(固定席848)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村より収容人数が多いことで有名な演奏家や演劇等、呼び寄せる際に有利と考えます。 ・客席裏等のデッドスペースは災害用備蓄庫にしてはどうかと考えます。 ・映画上映設備も備えてはどうかと考えます。 <p>多目的室:音楽やダンススタジオ、大規模会議、展示会、ミニシアターなど幅広く活用できる多目的室があれば多くの方が利用できると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容人員100～150名程度の広さとします。 ・完全防音とし音楽リハーサル室やダンスホールとして使える構造です(=こうすれば小規模コンサートも可能)。 ・会議プレゼン用の視聴覚設備を持たせます。 ・録音機能を持たせておけば音楽練習に活用できます。 ・視聴覚設備はシアター対応としミニ上映会も可能とします。 ・会議使用時以外は机、椅子を完全に収容できる保管庫を備えます。 	<p>展開していくことを計画しています。</p> <p>【参照:基本計画(案)P.11 第3章 事業の考え方「(4)鑑賞・普及事業」】</p> <p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度であり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。なお、客席は、イベントの規模に応じて利用しやすいよう多層式(1階と2階)とすることを計画しています。</p> <p>車椅子対応や障がい者用座席については、いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>[デッドスペース等の活用、映画上映設備、多目的室について]</p> <p>デッドスペースの活用、映画上映設備、多目的室に関しては、いただいたご意見をふまえ、次年度以降に行う設計及び備品計画の中で検討を進めます。</p> <p>【参照:P.31 第8章 整備スケジュール</p> <p>1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・現文化センター並の部屋数とスペースは必要と考えます。各楽屋には鏡、給湯設備、トイレ、多人数を収容する楽屋にはさらに更衣室があったら便利です。 ・小規模な楽屋は洋間や座敷風でくつろげる作りが良いと思います。 	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:P.15 第4章 施設計画 3 主たる機能諸室の検討</p> <p>(1)ホール機能 ①大ホール「楽屋」「楽屋附属機能】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・市に登録している各種文化団体が利用できる保管庫(現在の公民館3階の備品倉庫の様なもの)は必要かと思います。 	<p>利用団体の専用倉庫の設置は、他の利用者とのバランスから難しいと考えます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室兼研修室 <ul style="list-style-type: none"> *会議中や研修中は内からの音漏れ、外からの騒音が気になることが多々あるため、全室、最低限、現在の研修室Ⅱ程度の遮音性は確保すべきと思います。 ・30～40名規模:2室(内、完全防音と視聴覚設備付き1室) ・10～20名規模:2室 ・和室:2室(給湯設備あり) <ul style="list-style-type: none"> ・お茶会などの和の催しや楽屋需要を想定。 ・調理実習室:1室(現公民館程度で電磁調理器あり) <ul style="list-style-type: none"> ・料理教室等 	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照:第4章 施設計画 3 主たる機能諸室の検討・整理</p> <p>P.17 (2) 創造支援機能「和室」「調理実習室」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災を経験した者として大規模災害時にはライフラインが長期間断たれることが予想されます。避難施設として単独で2週間程度(1000人程度?)は非常用電源と大型貯水槽を備え電気、水(生活用水含む)の確保を望みます。なお、阪神淡路では電気は1週間程でほぼ全面復旧しましたが水道の全面復旧には3カ月程要したと記憶しています。 	<p>大規模災害時にはライフラインが止まります。高知県の道路啓開計画では3日後には緊急輸送道路の機能が確保されます。さらに、災害対応の拠点となる施設や、避難所等の電力の回復や、携帯電話の音声通話がつながりやすくなったり、代替手段を利用した限定的な通信が確保されるようになるのも3日後からとなります。自助による3日分、公助による2日分、共助による2日分(流通備蓄)で1週間分の備蓄体系となっており、同時に3日目以降にライフラインは毎日少しずつ回復していきます。こうしたことを考えると3日たてば、全国の皆さんからの支援の手が差し伸べられ</p>

			<p>ることが想定されます。</p> <p>本市では、備蓄(食料や水等)は1週間分が必要と考えており、予想されている最大規模の地震の際に想定される避難者数の備蓄に努めています。また、水についてですが、文化複合施設ができる中村地区には耐震性貯水槽を設置しており、9,000人が1日3リットルを4日間使用できる分を準備するとともに、水道管路の耐震化や水源地である中村百笑町からの給水車による水の搬送システムの構築なども進めているところです。こういった状況を踏まえ、文化複合施設の避難施設機能については、施設規模・配置等が明確になってくる来年度以降の設計段階で、非常用電源の確保も含め適切な機能配置に努めます。</p>
		<p>・利用者が少ないことが予想されるので不要という声も聞きますが、安全面から駐車場からのアクセスに歩道橋あるいは地下通路は必要と考えます。</p> <p>・全館でフリーWi-Fiの利用、全室でコンセント同様に光回線によるLAN設備は不可欠と考えます。</p> <p>急ぎ、書きましたので文節の表現、内容ともまとまりのない文章となっています。何卒ご了承の程お願いします。</p>	<p>文化複合施設の臨時駐車場については、中央公民館側に整備する新JAグリーンはた中村店の駐車場を活用する予定です。付近は交通量が多いことから、安全面への配慮として歩道橋や地下通路設置のご意見と思いますが、事業費や費用対効果等の観点から整備は難しいと考えます。臨時駐車場から施設へのアクセスについては、付近の横断歩道を利用させていただくことを考えており、イベント等混雑が予想される場合は、交通誘導員の配置も検討します。</p> <p>公衆無線LANの整備は、次年度以降の設計段階において具体的に検討を進めます。</p> <p>【参照:P.23 第4章 施設計画 5 その他 施設整備の留意点 (8)その他】</p>
15	15	<p>大ホールの客席は850席では大きなイベントを行うためには少なく、どうしても1,000席程度が必要である。(一階700席、二階300席)</p> <p>また、すぐれた文化芸術作品の鑑賞機会を提供するためとあるが、たとえばプロのオーケストラを鑑賞したいとなれば、1,000席ないと採算が合わず来てくれないのが現状である。</p> <p>そして、防災の拠点として考えてみても大きい器が絶対に望ましい</p>	<p>[客席数について]</p> <p>文化複合施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業を展開していくことを計画しています。</p> <p>【参照:基本計画(案)P.11 第3章 事業の考え方「(4)鑑賞・普及事業」】</p> <p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度であり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流</p>

		<p>はずである。</p>	<p>の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。</p> <p>[避難施設について]</p> <p>防災対策への市民の関心が高まる中、公共施設には十分な防災対応と運用が求められているので、災害時に求められる多岐にわたる機能を可能な限り持たすことを目標としています。全国の皆さんから集まる支援物資の集積・仕訳・配送所の機能、災害ボランティアや応急救助機関の活動拠点、避難所など様々な機能が想定されています。ただ現時点では、施設規模・配置等が明確に決まっていないので、来年度以降の設計段階で適切な機能配置に努めます。</p>
16	-	<p>一つのホールで、催物によって小ホール、大ホールと区別して使えるような形にして頂けると、これまで呼べなかったプロのオーケストラやミュージカルなど遠くへ出向かずに楽しめるのではないかと思います。</p>	<p>P,15客席の項目に示したとおり、多層客席とし、全体を使用すれば大ホール、1階のみを使用すれば中ホールとして利用できるよう計画しています。なお、客席数については、基本計画素案の段階では、850席(1階600席、2階250席)を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。</p> <p>公演の実施については、P.11 「(4)鑑賞・普及事業」に示したとおり、本施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供していくことを計画しています。</p>

	-	普段活動している団体が、練習やリハーサルに使用できる部屋を何部屋か作って頂ければありがたいです。	<p>いただいたご意見を踏まえ、次年度以降の設計段階において検討を進めます。</p> <p>【参照：第4章 施設計画 3 主たる機能諸室の検討・整理 P.16 (2)創造支援機能「リハーサル室(兼練習室)」「スタジオ」「練習室(兼会議室)」】</p>
17	11	◎以下の中でどこかで利用出来るよう要望します。 (5)(6)の事業の中で例えば移動式マット、机、椅子の使用による将棋、囲碁など利用出来るようにして下さい。	<p>移動式マット、机、椅子については、いただいたご意見も参考にしながら、今後の備品計画において検討します。</p> <p>【P.31-32 第8章 整備スケジュール 1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】</p>
	16 17	和室の中に無料で誰もが話し合い、将棋など利用出来る部屋を作 って下さい。(広さは問いません)	<p>利用料金については、いただいたご意見も参考にしながら、今後の管理運営計画において検討します。</p> <p>【P.31-32 第8章 整備スケジュール 1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】</p>
	17 18	エントランスロビー、交流ラウンジの空間を利用した将棋、囲碁など 出来ないでしょうか。	<p>利用ルールについては、いただいたご意見も参考にしながら、今後の管理運営計画において検討します。</p> <p>【P.31-32 第8章 整備スケジュール 1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】</p>
18	-	座席数についてですが、中村交響楽団が演奏するなら850席でもい いと思いますが、著名な演奏家をお招きする場合を考えると、1000 席必要です。規模の小さい演奏会の時には二階席の照明を落とす などすれば違和感無いと思います。	<p>文化複合施設において、様々な分野の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業を 展開していくことを計画しています。</p> <p>【参照：基本計画(案)P.11 第3章 事業の考え方「(4)鑑賞・普及事業」】</p> <p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度で あり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流 の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の 学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定し ていましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要 との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延</p>

			床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。
19	3～6 (他頁にも関連)	子どもが小さなうちは子どもと一緒に、子どもが大きくなれば彼ら・彼女らの憩いの場としての活用、最後には人生に長く寄り添う施設となる文化複合施設を望みます。子育て中は誰もが多忙となり、どの世代も”子どもの遊び場”があつたらいいなと思っても、それを実現させるための最初の一步を踏み出す時間がありません。アンケートを取り、また子育ての先輩方の意見を聴いている中で感じたことは、気軽に集える広場のような存在は、前の世代も今の世代も、そしてこれから子どもを育てる世代も一度は必要としてきた・必要としていく場所なのではないかということです。子どもはあつという間に大きくなります。ですので、子育て中の家族はいま必要だと感じているものが、翌年にはそれほど必要ではなくなる可能性のあるスピード感の中で暮らしていると実感します。目をつぶればあつという間に過ぎ去る一時的な不便かもしれませんが、その”あつという間に過ぎ去る”時間の中で何度「こういう施設があつたらなあ」と思ったか。「声を上げても中々実現しないだろうし」あきらめは街から元気を奪っていきます。子どもを産み、育てるということはお父さん、お母さんにとってライフステージが大きく変わる大切な時間です。その大切な時間の中で目をつむらなくてよいように、耳を傾けて、声を上げれば叶うことがある。そのように希望を持つ家族に育てられた子どもたちはきっとこれからの四万十市をもっともっと元気にする源になってくれると信じています。ですので、本市の将来像の実現、その中核拠点となりえる施設は様々な機能を必要とする包括的な施設を目指していると基	<p>文化複合施設の基本理念は「未来を紡ぐ参加・交流・創造の拠点」としています。基本理念に基づく施設の使命は、まず、文化センターが担ってきた役割を受け継ぎ、市を代表する文化芸術施設として、多くの市民が文化芸術を観て、体験し、表現する場となり、作品を創造するという表現活動を通じて豊かな心を育む環境をつくるということ。2つ目として、3施設を集約して再整備することで、世代や立場を超えて、多くの市民や来館者が集い思い思いに過ごすことができる場所が中心市街地に生まれるので、こういった場所や機会の提供を通じてあらゆる世代の方々の活動や交流を生み出し、にぎわいの創出に寄与すること。3つ目に、中央公民館、働く婦人の家が担ってきた学ぶ場としての役割も引き継ぎ、市民の学びを支え続けていくとともに、市民のまちづくりに対する参画意欲を高めながら次世代へと繋いでいくことだと考えています。その使命は「創り 観せ 紡ぐ」、「集い 賑わい 交流する」、「学び 育み 繋げる」という9つのキーワードで表現できます。</p> <p>このように、文化複合施設はあらゆる世代の方に来てもらい交流を楽しんでもらうことを想定していますので、特定の方が中心となるような施設機能の整備は考えていませんが、キッズコーナーを設置する等、子どもや子育て世代にも気軽に利用出来る施設を考えています。</p> <p>交流機能及び飲食に関しては、いただいたご意見をふまえ、次年度以降に行う設計及び管理運営計画の中で検討を進めます。</p>

		<p>本計画(案)から読み取れますが、私どもは”こどもの遊び場”。子どもたちが集える・子育て世代が集える場を中心にした施設が本市の将来において最重要なことであると信じています。子ども自身が小さなころからこの文化複合施設に馴染み、保護者も一緒になって施設にある芸術に触れることを、そのような場所があることを認識できることはとても素敵なことだと思えます。またその補完として、家族同士がおしゃべりを楽しむことができるスペースは欠かせません。リラックスできる気軽な空間であることを考えると飲食可能で、また軽食の提供が可能であればと思います。そのような場所は地域コミュニティを強くすることにも貢献できると思います。</p>	
20	-	<p>ホールのピアノは、スタンウェイか相当の物を。 運営は専門性の高い人を入れる事。</p>	<p>ピアノを含む楽器備品については、いただいたご意見も参考にしながら、今後の備品計画において検討します。 【P.31-32 第8章 整備スケジュール 1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】 運営についても、いただいたご意見も参考にしながら、今後の管理運営計画において具体的に検討します。 【P.24 第5章 管理運営の考え方 1 管理運営の基本方針 (1) 専門性の確保】</p>
21	-	<p>一流のピアニストを呼ぶには、現在のピアノははずかしいものがある。思い切って、この際いいメーカーの新品を購入するようお願いいたします。</p>	<p>ピアノを含む楽器備品については、いただいたご意見も参考にしながら、今後の備品計画において検討します。 【P.31-32 第8章 整備スケジュール 1 整備スケジュールの整理 2 開館までの業務】</p>
22	-	<p>○ホールの控室を充実させて欲しい。交衣(更衣)、休けいなどに使いやすい施設・設備をつくって欲しい。</p>	<p>ホールの楽屋については、いただいたご意見も踏まえ、今後の設計段階において検討を進めます。 【参照:第4章 施設計画 3 主たる機能諸室の検討・整理 P.15「楽屋」】</p>

		○客席数は千席～以上を。	<p>近隣施設の興行の集客状況を見ると700人以上の動員があるのは年1回程度であり、このことを踏まえ、基本計画素案の段階では、ホール・創造支援・展示・交流の各機能をバランス良く確保し、現文化センターの客席数を上回る規模で、市内の学校総見や成人式等を想定しても収容が可能な客席数として、850席程度を想定していましたが、整備検討委員会の中でも、850席で十分という意見と1,000席は必要との意見に分かれているところです。そのため、客席数については、施設全体の延床面積が限られている中で、交流スペースや他の諸室、ホール内の舞台等に悪影響を及ぼさないことを前提に、出来るだけ多くの客席数を確保するよう調整します。</p>
23	-	<p>基本設計の段階で一度オープンにして問題点の検討する機会が必要です。その上で本設計に移行するステップを踏む必要があると思う。</p>	<p>基本設計段階においても、市民ワークショップ等を開催しながら市民の皆さんの意見も伺い検討を進めます。</p>